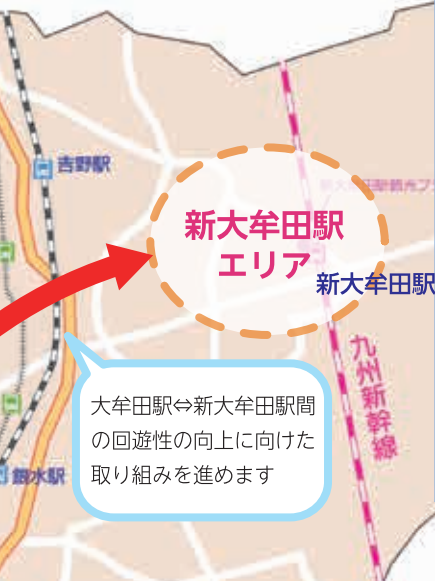


のまちづくりが始まっています

新大牟田駅周辺をさらに魅力的に（新大牟田駅エリア）

新幹線停車駅のポテンシャルを生かすため、九州自動車道や有明海沿岸道路へのアクセスにも優れた九州新幹線新大牟田駅南側の地域に、商業・サービス系の「賑わい交流用地」と企業立地による雇用創出を図るための「産業用地」の整備を行っています。

（令和6年1月以降運用開始予定）



大牟田駅⇄新大牟田駅間の回遊性の向上に向けた取り組みを進めます



新大牟田駅南側の地域に新産業団地の整備を進めています。

スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気に（延命公園エリア）

「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気に」をコンセプトに市民のスポーツ・健康増進の拠点となる新しい体育館を整備します。また、このエリアには、「動物福祉を伝える動物園」として全国的に注目を集める大牟田市動物園や、令和3年10月にオープンした“ともだちや絵本美術館”があり、このエリアを一体的に整備することで、市民の健康や憩いの場とするとともに、さらなる賑わいを創出する広域観光・交流拠点づくりを進めます。



※完成イメージ
令和6年4月
オープン予定

（仮称）総合体育館の整備とあわせて、延命公園エリアの整備を一体的に進めます



未来に向けた 新たな大牟田

本市は現在、新型コロナウイルス感染症対策や令和2年7月豪雨災害からの復旧、復興に向けた取り組みを進めながら、これまで培ったまちのポテンシャルを最大限に生かしておおむたの将来を見据えた、新たなまちづくりに取り組んでいます。

主な事業として、令和4年度から5年度に向けて事業が本格化する「中心市街地におけるイノベーション創出拠点の整備」、「(仮称) 総合体育館を含む延命公園エリアの整備」、「産業用地や賑わい交流用地を設ける新大牟田駅南側産業団地の整備」について、紹介します。

若者がつながり、活躍できる新たなまちの拠点へ (中心市街地エリア)

デジタル技術を活用したビジネスモデルや働き方の急速な変化に対応するため、柔軟な発想によるイノベーション(※1)を創り出していくことが求められています。そのため、「若者が夢をもって働くまちづくり」に向けて、都市圏とのアクセスが良好な市の中心部に位置する旧商工会館を再生させることにより、貸しオフィスやコワーキングスペース(※2)などを備えた拠点が誕生します。併せて、施設に入居するIT等の情報関連企業を誘致し、人・企業の活発な交流やIT人材育成などを行うことで、イノベーション創出に向けた取り組みを進めます。



- ※1 新たな価値を生み出し、社会に変化をもたらすこと。
- ※2 複数の人が情報交換や作業の場として共有できるオープンスペースのこと。

令和4年9月オープン予定の
イノベーション創出拠点 (イメージ)

すでに、IT人材の育成を進めています！



SDGsの達成に向けて～SDGs未来都市 大牟田市

SDGsの達成に向けた、経済・社会・環境の3つの側面からなる統合的な取り組みを提案する都市として、大牟田市は国から「SDGs未来都市」に選定されています。本市はこれまでも、低炭素社会・資源循環型社会・自然共生社会等の実現に向けた取り組みやESDによる持続可能な社会を創る担い手の育成、認知症ケアコミュニティ推進事業などに取り組んできました。

今後も「SDGs/ESDのまち・おおむた」として、SDGsの達成に向けた取り組みに貢献することを目指します。

